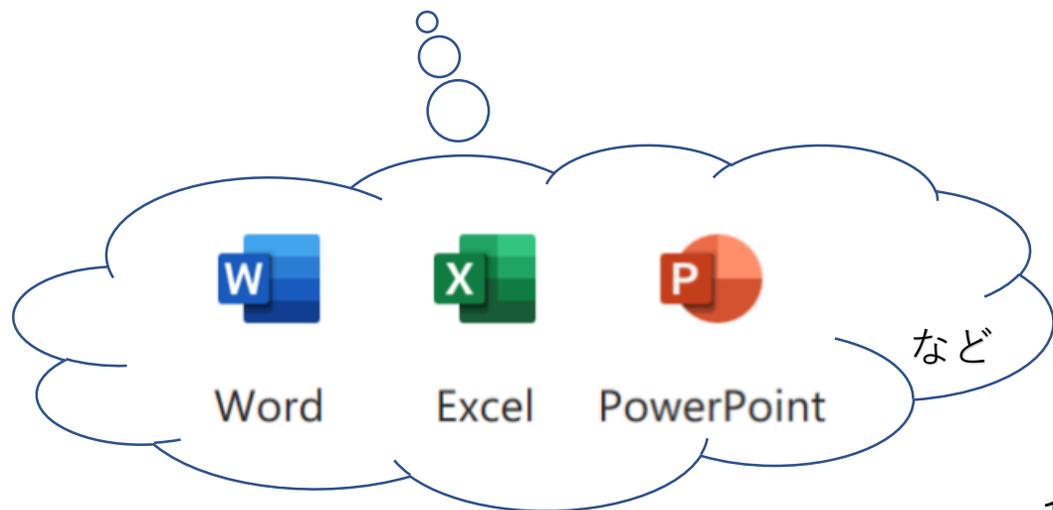


# Office365



Office365に登録された方は

## Webブラウザ上でも Officeがご利用になれます



※ Windows10の画面を使用して紹介していきますが、Macユーザーの方も同じようにご利用いただけます。

## 目次

一般的なOfficeの起動方法	3 ページ
Webブラウザ上でのOfficeの起動方法	5 ページ
Webブラウザ版の利点	7 ページ
Webブラウザ版の注意点	10 ページ
各アプリケーションの使い方	13 ページ

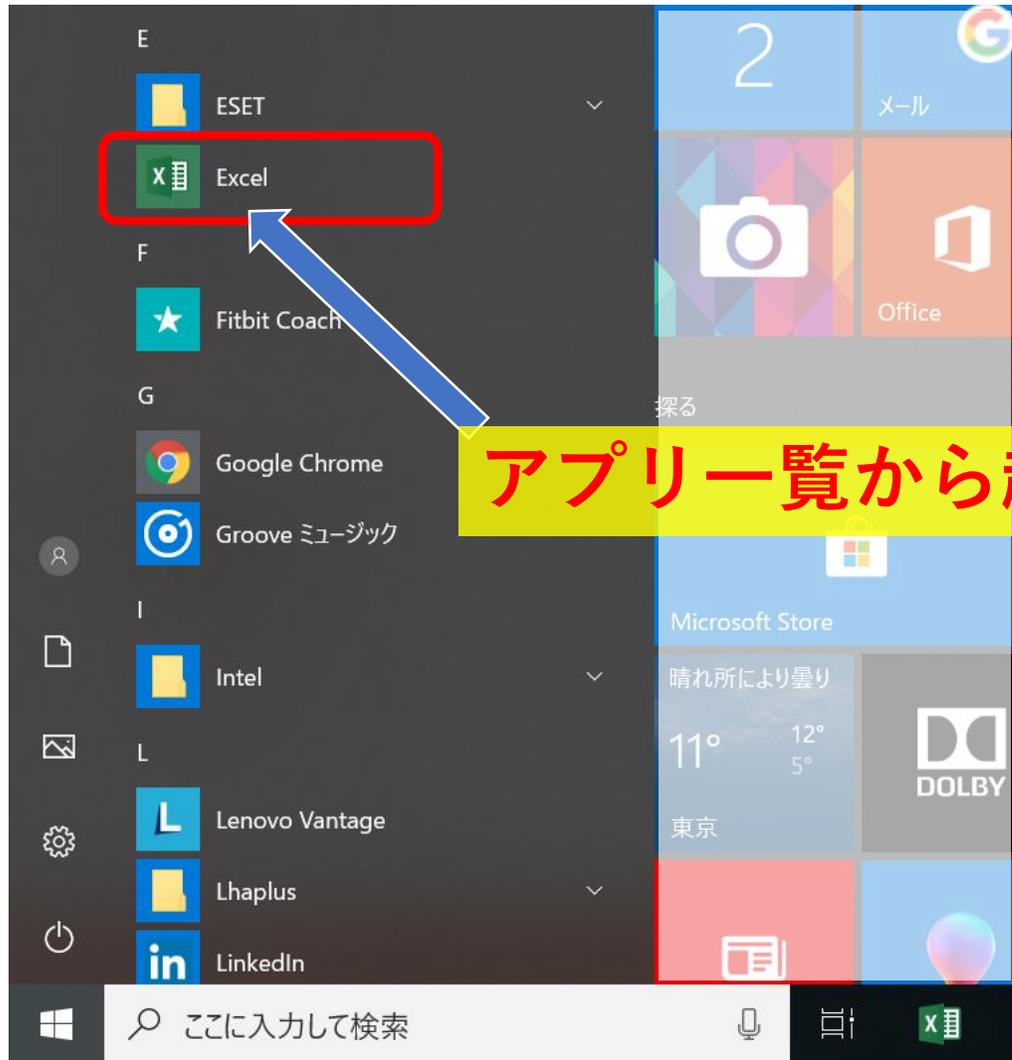
まずは

## 一般的なOfficeの起動方法

を確認してみましょう

# Office365

## 一般的なOfficeの起動方法



写真のように、デスクトップアプリ（PC内にインストールされたアプリ）を利用している方がほとんどかと思えます。

今回ご紹介するのはこちら

## Webブラウザ上でのOfficeの起動方法

を確認してみましょう

# Office365

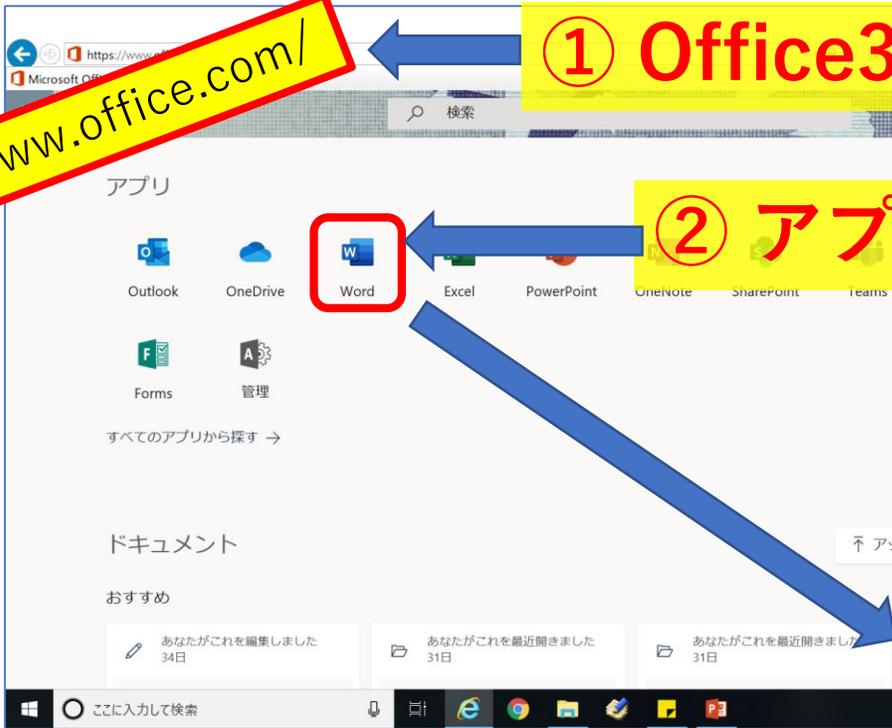
## Webブラウザ上でのOfficeの起動方法

<https://www.office.com/>

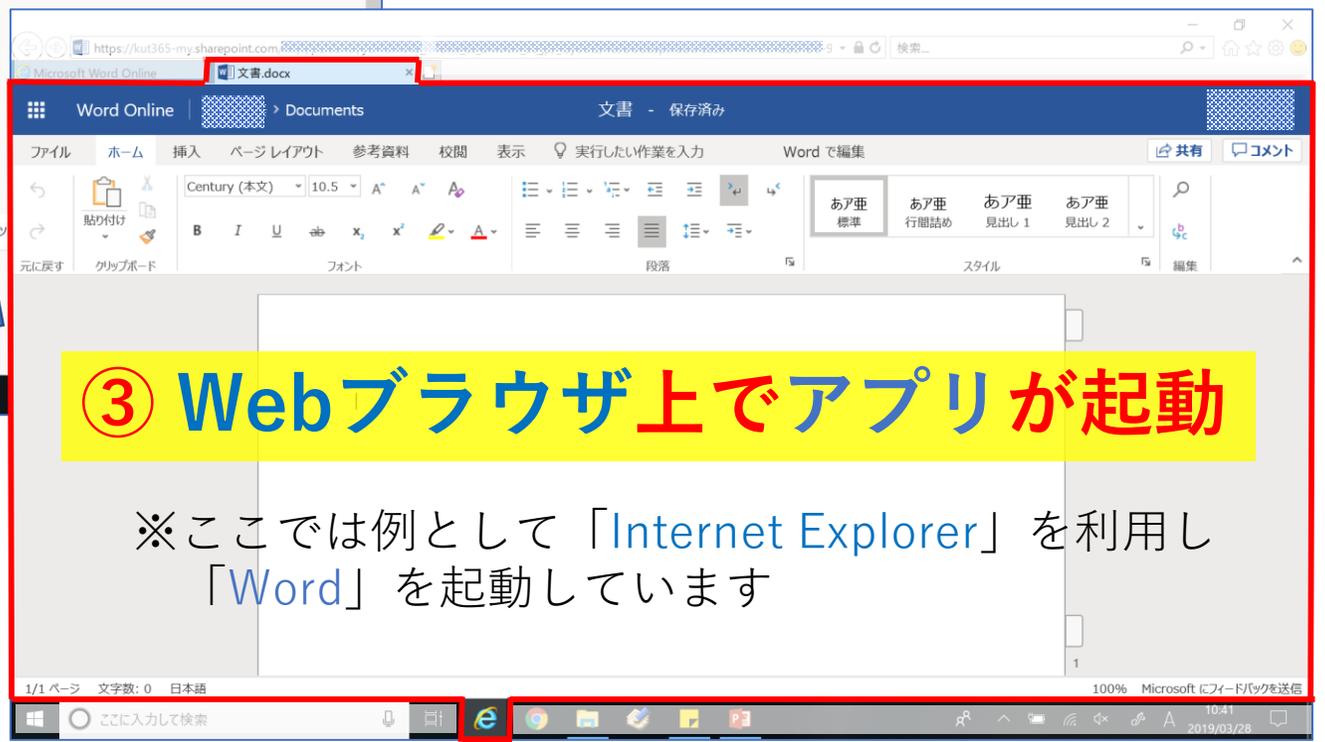
### ① Office365にサインイン

- ・ 大学貸与のメールアドレス
- ・ ご自身が作成したパスワード(8文字以上)

### ② アプリ一覧から目的のアプリをクリック



### ③ Webブラウザ上でアプリが起動



※ここでは例として「Internet Explorer」を利用し「Word」を起動しています

こんな場面で

## Webブラウザ版の利点

を活かせます

外出先のPCにはOfficeがインストールされていなかった。  
または期限が切れていて使用できなかった。  
でもインターネットには接続できる。

### インターネット接続さえできれば どの端末からでもアクセス可能

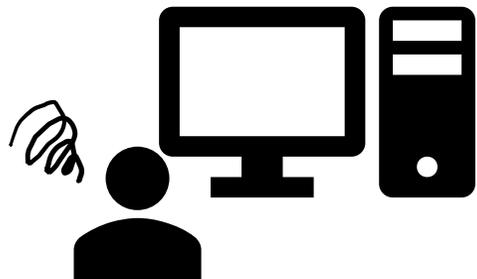


“USBメモリを持っていないから折角作ったファイルを持ち出せない…”

心配いりません。

Webブラウザ版で作成したファイルは、「OneDrive」というオンラインストレージ（インターネット上の保存場所）に自動保存されます。

Office365にサインインすることで、別のPC（端末）からでも同じファイルを利用することができます。



チームでプレゼンテーションをすることになり  
メンバーと一緒に資料の作成をしたいけど  
時間や場所の都合で集まることが難しい…。  
でも、メンバーは自宅等でインターネット接続が可能。

## Webブラウザ上で 1つのファイルを複数人が開いて 同時編集することが可能

ファイルに対し、誰と「共有」するか設定する必要があります。  
または、「Teams」というアプリで、メンバー専用のページを作成し、その中でファイルの共有をするということも可能です。



安全に利用するために

## Webブラウザ版の注意点

を確認しましょう

◆ **ご自身のPC（端末）以外**でサインインする時は、サインイン情報である「**大学貸与のメールアドレス**」と「**ご自身で設定したパスワード**」を、PC（端末）に**記憶させない**ようにしてください。同じように、「**サインインの維持**」も**しない**ようにしてください。

◆ 終了する時は×ボタンなどで閉じるのではなく、「**サインアウト**」してください。

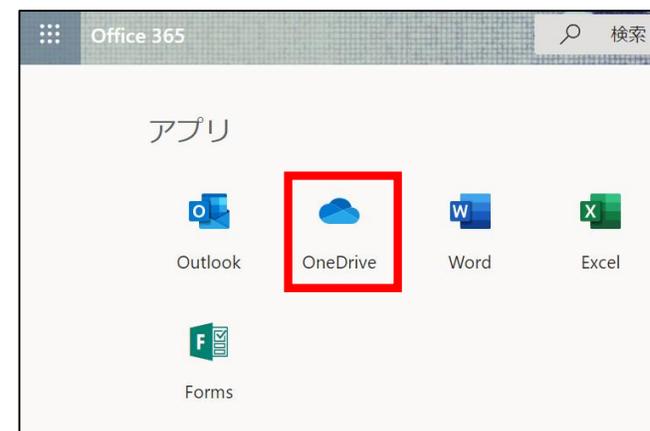
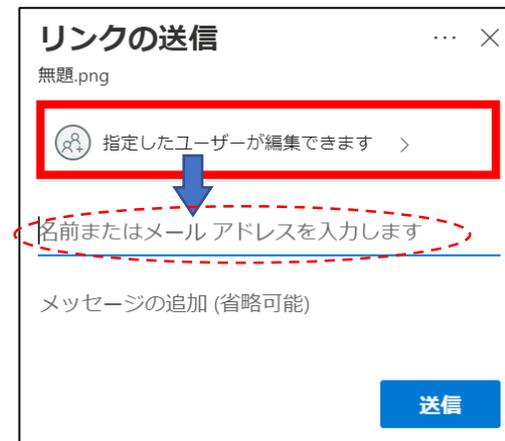
上記2点は、Office365に限らず、Webサービスを利用する上でとても大切なことです。ご自身のアカウントを不正に利用されない為、必ず行ってください。



◆他のユーザーとファイルを**共有**する場合、**特定のユーザーを選択**するようにしてください。意図しないユーザーに閲覧・編集されないよう、**共有設定は慎重**に行ってください。

◆デスクトップ版に比べて**使える機能が少ない**です。体裁を整える書式設定などをよく使われる方は物足りなく感じるかもしれません。

◆作成中のドキュメントは、「**OneDrive**」というクラウドストレージ（インターネット上の保存場所）に**自動保存**されます。Webブラウザをうっかり閉じてしまっても、「OneDrive」を開くと保存されていますのでご安心ください。



使ってみたい・興味がある方は

## 各アプリケーションの使い方

を公式ページで確認してください

# Office365

## 各アプリケーションの使い方

“Office 365 トレーニング センター”という公式ページにて、各アプリケーションの使用方法を確認することができます。動画もありますので、興味を持たれた方はぜひご覧ください。  
アプリケーションによっては、「個人用」向けと「職場または学校」向けの動画があります。  
大学メールアドレスにてOffice365を利用している方は「職場または学校」を選択してください。

<https://support.office.com/ja-jp/office-training-center>



スマートフォン  
からも見れます

